平野区
うお～くらり～

お願い

●各コースともいつでも自由に参加できますが、ゆったりとした計画でご家族や友人と気軽に歩きましょう。

●交通ルールを守り、とくに自動車などの交通事故に注意しましょう。

●各ポイントには、スタンプの設置時間の制限や休みなどの場合がありますので、ご注意ください。なお、スタンプのない所ではクイズなどもお楽しみください。

●この「平野区うお～くらり～」に参加されて、わがまち平野区の再発見をしていただき、アンケートにお書きください。今後の区行政の参考とさせていただきます。

●全コースのポイントを歩かれた方は区役所または（財）平野区コミュニティ協会（平野区民センター内）で完歩証明記念スタンプを表紙裏に押印します。

●このスタンプ帳は、1人1冊、複数冊での参加はできません。
（参加中の事故・ケガ等については、主催者は一切責任を負いません）

主催 平野区役所
財団法人 平野区コミュニティ協会

※区民の参加によってできた“平野区いろはかるた”の読み札をのせています。

トイレ設置

長吉コース

約6.8km

1. 長吉出張所
2. 志紀長吉神社
3. 長原高廻り古墳群
4. 真田幸村休息所跡
5. 川辺八幡神社
6. 地下鉄長原駅
7. 赤坂神社
8. クラフトパーク
9. 産土神社
10. 天照皇大神社
11. コミュニティプラザ平野
12. 地下鉄出戸駅

地名の由来

●長吉（ながよし）

「長吉」の名を冠したものに、この地の氏神「志紀長吉神社」が挙げられる。同社の祭神は長江襲津彦命と事代主命の二座であり、襲津彦は、孝元天皇の孫・武内宿禰の子で、「古事記」などによると葛城襲津彦と同一神とされている。父の武内宿禰は大和の葛城地方を拠点とした葛城氏の祖といわれ、事代主命も葛城氏と関係のある神であることから、かつて河内国志紀郡に住む葛城氏にかかわる人々が、葛城一族の祖神として「志紀長吉神社」に祀ったものではないかと推測される。一般的に「長吉、永吉」の地名は、「いつまでもよい」という願いを込めた縁起のよい呼称とされてるが、現在の大阪市内「住吉」の地をかつては「墨江」と表記したことから、長江襲津彦命の「長江」が「長吉」に転訛した可能性もある。

長吉の地は、かつては現在の長原集落付近を指したもので、この集落の中央部を、狭山池を源として東除川が北流し、東が長原、西が吉富と呼ばれ、分かれていた。その後、宝永元年（1704年）に新大和川が完成するとともに東除川は埋め立てられて歩道となり、長原・吉富の両村は合併し、隣接の川辺・出戸・六反と一緒に長吉村が誕生したものである。現在の長吉地区は、出戸・六反・長原東・長原・長原西・川辺の六地域によって構成されている。

長吉コース
1

平野区役所　長吉出張所

●所在地：長吉長原2-6-58　☎6709-1201

●スタンプ設置場所：窓口受付●9：00～17：30●土・日・祝日・年末年始休み

○平成12年国勢調査
・世帯数　18,881世帯
・人　口　47,832人
　男　22,988人
　女　24,844人

○平成15年度　長吉出張所管内　人口動態
出生　512人　死亡　393人
転入　2,817人　転出　3,096人

長吉コース
2

志紀長吉神社（しきながよしじんじゃ）

●所在地：長吉長原2-8-23 ☎6709-1757

●スタンプ設置場所：社務所●9：00～17：00

延喜式内の神社で祭神は長江襲津彦命（ながえそつひこのみこと）、事代主命（ことしろぬしのみこと）の二座である。明治5年に旧郷社に列せられたころは、旧長吉、瓜破、恵我、大正、藤井寺の各村の総氏神であったが、現在は長吉一円の氏神である。

大坂夏の陣のとき、豊臣方の武将真田幸村（さなだゆきむら）がこの神社に刀剣と軍旗を奉納して戦勝を祈願したと伝えられ、刀剣は第２次世界大戦後、占領軍の命令で没収されたが、軍旗は今も神社に保存されている。麻布で、「真田の六文銭」がくっきりと描かれている。

長吉コース
3

長原高廻り古墳群（ながはらたかまわりこふんぐん）

●所在地：長吉長原2-14（なみはや公園内）

●クイズ:この地から出土した船形埴輪にちなんでつけられた公園の名前は？ 答え 公園

昭和62年（1987年）、この地から五世紀前半の円墳と方墳が発見された。墳丘は削りとられていたが、掘内から出土した船形埴輪・家形埴輪など33点の埴輪は国の重要文化財に指定されている。特に、船形埴輪は1989年、大阪市制100周年を記念して「古代船なみはや」として復元され、実際に韓国釜山までの航海を行なった。

現在では、石柱とともに、この付近の歩道に船形のモチーフがはめられている。

ふ 船形の埴輪に先祖の夢たどる

長吉コース
4

真田幸村休息所跡

●所在地：長吉長原4-8

●クイズ：奥の大きな石碑の建立の年月は？　答え　年　月

戦国の武将真田幸村は、大坂夏の陣のおり、南河内誉田方面において徳川方の伊達正宗軍と一戦を交えた後、古市街道を経て大坂城へ帰城する途中、この地にて休憩し、志紀長吉神社へ戦勝を祈願すると共に、軍刀を一振りと六紋銭の軍旗を奉納した。

現在、休息所跡には自然石が建てられ、その裏側には幸村の句が刻まれ往時を偲ばせる。

㊫ 幸村も
一息ついた
志紀の里

長吉コース
5

川辺八幡神社（かわなべはちまんじんじゃ）

●所在地：長吉川辺1-4-38 ☎ 6769-0323

●スタンプ設置場所：社務所●9：00～17：00

を思い出と語り遊んだ八幡神社

創建の年月不詳であるが、石清水（いわしみず）八幡宮の分霊を勧請したものと伝わる。往時は、社殿も壮大で社領も広く、いまの境外地字垣添の全部を包容し、社領も4町歩以上におよんだが、1704年の大和川付け替え工事よって立ち退きを余儀なくされ、社領地の大部分がその川床となった。明治5年村社に指定された。境内の楠の木には黒い龍が宿るという伝承があり、推定樹齢300年以上で大阪市の保存樹に指定されている。 また、毎年9月の秋祭には大和川に御輿を担ぎ入れる「足洗い」神事に併せて仕掛け花火と打上げ花火が行なわれ、秋の川面を彩る。